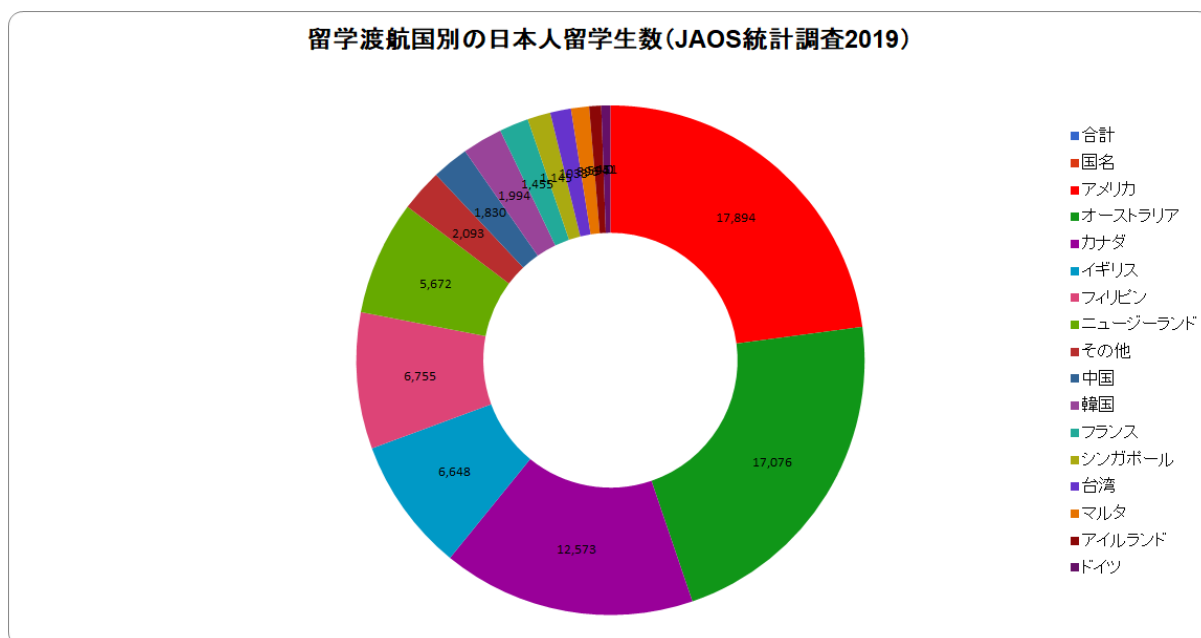


<リリースタイトル>

「アメリカ留学一強時代からの激変。昨年対比で日本人留學生の数が増加 ~ 『一般社団法人海外留学協議会(JAOS)による日本人留學生数調査2019』 調査レポート ~」

<サマリテキスト>

留学事業の健全な発展と国内の留学啓蒙を目的として、民間の留学事業者や海外政府機関等の72団体で構成される一般社団法人海外留学協議会(JAOS、理事長 加藤 ゆかり、以下、「JAOS」)は、2019年8月にJAOS会員である留学事業者42社を対象に日本人の留學生数の調査、『海外留学協議会(JAOS)による日本人留學生数調査2019』を実施しました。その結果、JAOS加盟の留学事業者42社からの2018年の年間留學生数は80,566人であること、アメリカ留学一強時代から変化し、新しい留学の選択肢が選ばれ始めていることなどが明らかになりました。※JAOS正会員である留学事業者は42団体

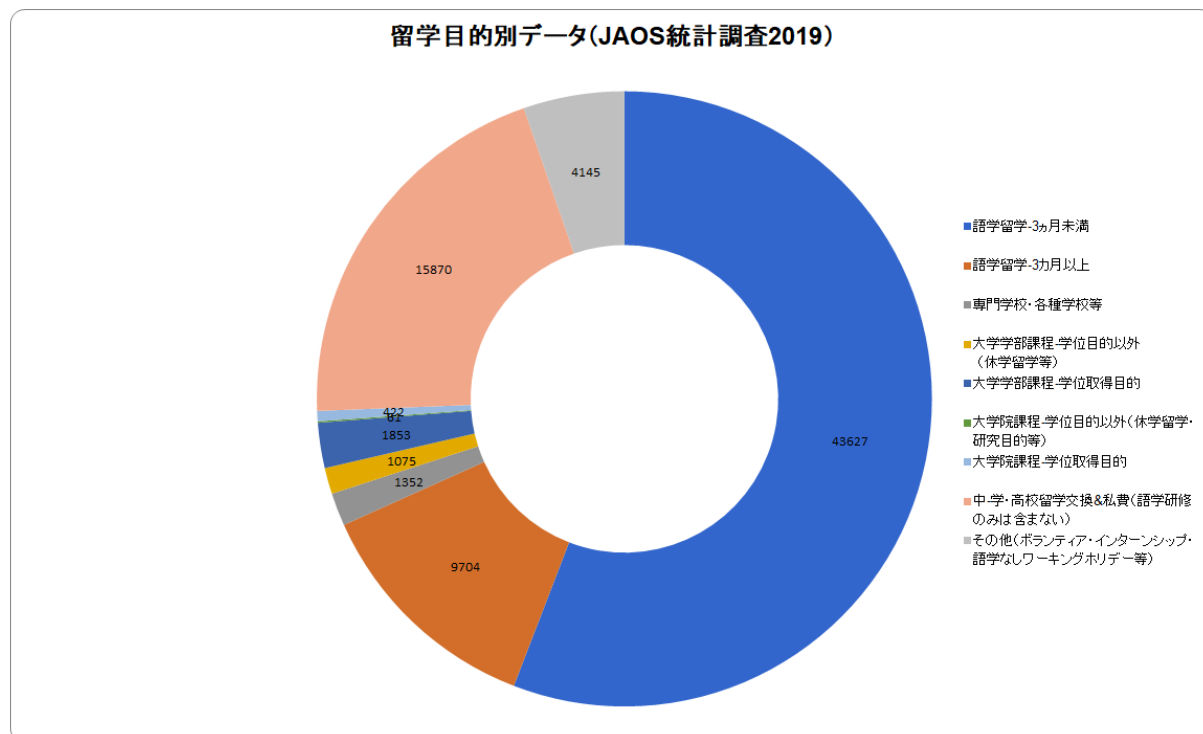


*参考添付：留学渡航国別の日本人留學生数「海外留学協議会(JAOS)による日本人留學生数調査2019」

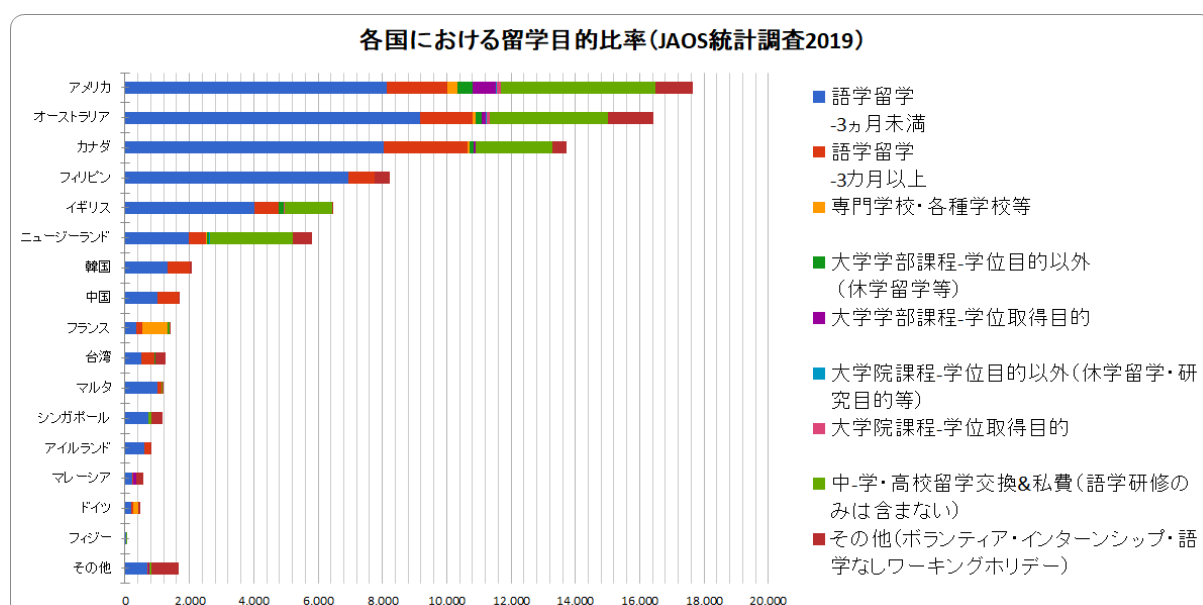
【調査背景】

留學生数の調査は、独立行政法人日本学生支援機構(JASSO)や、文部科学省のOECD等をもとにした『日本人の海外留学者数』などがありますが、海外の大学や大学院等の高等教育機関に留学した日本人の人数や、日本国内の大学経由などで留学をした学生の人数しか計測されていない側面があります。JAOSは『海外留学協議会(JAOS)による日本人留學生数調

査』を毎年実施し、社会人や小中高校生などを含む留学生数統計データを提供しています。これにより、日本人の留学生数をより明らかなものとし、留学業界全体を正しく発展させていくことを目的とします。JAOSでは今回の調査及びJASSO等の統計をもとに日本人の年間留学生数をおおよそ20万人と推定しています。



*参考添付：留学目的別の日本人留学生数「海外留学協議会（JAOS）による日本人留学生調査2019」



*参考添付：各国における留学目的比率「海外留学協議会（JAOS）による日本人留学生調査2019」

【調査結果数値サマリー】

留学国	語学留学 -3カ月未満	語学留学 -3カ月以上	専門学校・各 種学校等	大学学部課程- 学位目的以外 (休学留学 等)	大学学部課程- 学位取得目的	大学院課程-学 位目的以外 (休学留学・ 研究目的等)	大学院課程-学 位取得目的	中・学・高校留 学交換&私費 (語学研修の みは含まな い)	その他(ボラ ンティア・イ ンターンシッ プ・語学なし ワーキングホ リデー)	合計
アメリカ	8,121	1,905	311	460	739	9	146	4,810	1141	17,642
オーストラリア	9,159	1,642	100	182	134	13	101	3,681	1,414	16,426
カナダ	8,026	2,626	60	132	67	1	2	2,379	432	13,725
フィリピン	6,950	809	2	1	0	0	0	7	463	8,232
イギリス	4,027	744	17	134	13	7	36	1,467	35	6,480
ニュージーランド	1,965	563	20	44	19	13	7	2,593	577	5,801
韓国	1,329	680	0	12	0	0	0	0	54	2,075
中国	1,011	655	0	0	0	0	1	10	25	1,702
フランス	357	173	802	14	0	5	10	18	33	1,412
台湾	515	392	0	24	11	0	0	1	306	1,249
マルタ	1003	135	0	0	0	0	0	27	1	1,166
シンガポール	707	7	0	0	0	0	12	83	352	1,161
アイルランド	605	168	0	1	1	0	0	5	3	783
マレーシア	232	7	0	8	88	7	1	16	200	559
ドイツ	204	41	154	6	1	0	0	3	48	457
フィジー	18	0	0	0	0	0	0	10	0	28
その他	689	37	6	4	5	0	22	52	853	1,668
Total	44,918	10,584	1,472	1,022	1,078	55	338	15,162	5,937	80,566

※本調査では、JAOS加盟留学事業者42社の2018年の留学生数を第三者機関に委託し調査を実施しました。JAOS非加盟の留学事業者の数値は含まれておりません。

1) アメリカー強時代からの変化

アメリカへの日本人留学生数がJAOS統計調査では3年連続で減少傾向がみられる。昨年の調査ではアメリカへの留学生数が17,894名だったが、今年も17,642名と微減となった。IIE（国際教育協会）の調査においてもアメリカへの留学生数は減っている。トランプ大統領が就任して以降、外国人向けのビザ関連の規制などにより、世界的にみてもアメリカへの留学生数が減少傾向であることが読み取れる。

2) フィリピン、マルタ等の新たな留学先の国々が台頭

日本のメディアではどうしても日本人の海外留学といえばアメリカを想起されてしまう。それほどまでにアメリカ留学が大きな影響を持つということも言えるだろう。しかし、アメリカ留学が減少しているからといって、そのまま日本人留学生数が減少しているわけではな

い。むしろ、JAOS全体では留学生数は増加傾向にある。つまり、アメリカ以外の国々への留学生数が増えている。

例えば、ヨーロッパでみるとイギリスへの留学生こそ微減ではあるが、近年人気が高まっている地中海に浮かぶ島であるマルタへの留学は昨年対比で約30%増加し、躍進していると言えるであろう。アイルランドも昨年対比で約30%の増加を実現している。アメリカへの留学生が同じ北米であるカナダへ流れていることが多いと言われ、すでに留学大国であるにも関わらず、昨年対比で約9.2%と10%近くの成長をみせている。アジアではフィリピン、シンガポール、マレーシアなどが人気だが、特に昨年調査時点でイギリスを抜いて世界4位の留学先となったフィリピンは昨年対比で20%以上の成長をみせており、数年後にはカナダやオーストラリア等に並んでくる可能性もみえている。また、フィリピンやマルタなどは国ごとの調査レポートでも増加を示している。

3) 企業がより実践的な英語力を求めて語学留学が増加

昨年対比で最も数字が伸びている留学は語学留学だ。3ヶ月未満および3ヶ月以上の留学、どちらも増加している。会員各社の声としては、その背景には企業が新卒採用で企業応募時に求める英語力が年々上がっていること、グローバル市場を目指す日本企業の管理職への昇進基準に英語力が課せられつつあること等が要因としては挙げられる。

そのため、大学生の就活に向けての語学留学の伸びがあるのと、キャリアアップを目指す社会人の個人での短期語学留学や企業研修が伸びている。3ヶ月以上の語学留学になると、休学して留学する大学生が一定数いるのと、会社を退職してキャリアチェンジするために留学をする社会人が多い。

以上

【統計調査概要】

期間：2018年1月1日～2018年12月31日

調査対象：JAOS加盟留学事業者42団体

■一般社団法人海外留学協議会 (JAOS) とは

1991年に留学事業の健全な発展と国内の留学啓蒙のために組織された機関。現在、留学サービス事業者を中心に70以上の団体が加盟、パートナー会員として、オーストラリア大使館マーケティング事務所、ブリティッシュ・カウンシルなど公的機関も会員になっている。JAOS 会員留学事業者から年間約8万人の日本人が留学している。

- ・ 設立：1991年 (2008年に一般社団法人格を取得)
- ・ 理事長：加藤 ゆかり
- ・ 所在地：〒162-0825 東京都新宿区神楽坂6 - 4 6 口ペール神楽坂7F
- ・ URL：www.jaos.or.jp

■本リリースについてのお問い合わせ先

一般社団法人海外留学協議会 (JAOS) 事務局長 星野 達彦

Email：jimukyoku@jaos.or.jp 電話：03-3269-8446 FAX：03-3269-8447